

## ■委員会での討論

### 【賛成意見】

- 議場に国旗、市旗を掲揚し国や市がよくなるため、議会は真剣に真摯に議論すべきである。
- 議場に国旗、市旗がないことに違和感があり、加西市や日本を背負って未来のために議論していく自覚を持つためには掲揚は必要である。
- 国会の議場においても県会の議場においても国旗は既に掲揚されている。市議会の議場に国旗と市旗を掲揚するのは当然である。

### 【反対意見】

- 市の施設に国旗、市旗が掲揚されているだけで十分で、議案や市民の要望を議論する場にあえて掲揚する必要はない。
- 国旗は特別な式典や行事のときに上げてこそ威厳が感じられる。
- 国旗及び国歌に関する法律が制定されてもなお違和感のある人もあり、加西市議会は国ではなく自由に加西市の問題を議論する場である。
- 強く反対するものではないが以前にも同様の陳情が提出されており、慎重に扱うべきと反対した経緯から、今回も賛成はできない。

委員会での議決結果 賛成 3、反対 4 で不採択

## ■本会議での討論

### 【賛成意見】

- 市民からの付託を受けた議員が、お互いの主張を議論し合い、認め合い、明日の加西市を築いていく場である厳粛な議場において、国旗・市旗の掲揚を拒む理由はどこにもない。
- 請願者ならびに賛同者が区長さんであることから、多くの住民の賛同が背景にあるものと理解すべきであり、非常に厳粛に、非常に重く受けとめる必要がある。
- 国を愛し、郷土を愛する気持ちを持っており、議場に国旗を掲揚することは重要である。
- 国旗・市旗は、国や市を象徴するものであり、その歴史、伝統、文化、国民・市民の理想そのものである。こうした国旗と市旗を前にして、真摯に真剣に誠実に議論を戦わせ、誇りあるまちづくりに精進することこそ議会人の本分である。

### 【反対意見】

- 国旗に対する考え方は人それぞれで、言論の場にあえて対立するものを持ち込む必要はない。国旗掲揚は思想、信条にかかわる問題で世論を分け、市民全員にその気運があるとも考え難い。国旗掲揚の有無をめぐり議会を二分することは避けるべき。
- これまで議場に国旗が上がってなくても加西市にとってマイナスはなく、全く国旗というものを意識しないで議論をしてきたので、いままでどおりの方が議論も活発にできる。
- 少数者の意見や立場を尊重して真摯に議論する場であるからこそ、いろんな権威につながり、国旗等何も飾らないのが議場の本来の姿であり、重みがあってふさわしい。

本会議での議決結果 賛成 7、反対 7 の可否同数につき議長裁決により不採択

議案	○…賛成 ×…反対														議決結果	
	井上芳弘	土本昌幸	別府直	深田真史	植田通孝	中右憲利	長田謙一	衣笠利則	松尾幸宏	黒田秀一	織部徹	森元清蔵	三宅利弘	高橋佐代子		森田博美
<b>請願第 1 号</b> 加西市議会議場に国旗・市旗の掲揚を求める請願	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	議長裁決 ×	原案不採択 ※1 (賛7、反7)